

## 事業所用アンケート調査の状況について

### (1) 趣 旨

子育て支援者からみる市民の子育てへの不安や困っていること等を把握するとともに、既に実施しているアンケート調査では把握しづらい、支援の必要性があると思われる子どもたちの状況についても把握することを目的とし、調査を実施した。

### (2) 調査対象と抽出方法について

アンケートでは聞き取ることができない保育所、幼稚園、小学校、学童クラブ、児童館等に通う子どもたちの状況について、子育ての担い手に対してヒアリングシートを配布し、記入していただいた。その後、対象の絞込みを行い、対面式のヒアリングを実施した。(ヒアリングは現在実施中)

### (3) 回答状況について

| 回答者<br>施設名 | 園長 | 主任保育士 | 職員 | 館長 | 校長、教諭 | 合計 |
|------------|----|-------|----|----|-------|----|
| 私立保育園      | 6  | 9     | 9  |    |       | 24 |
| 認定こども園     | 2  | 2     | 2  |    |       | 6  |
| 認証保育所      | 2  | 1     |    |    |       | 3  |
| 私立幼稚園      | 2  | 2     | 4  |    | 2     | 10 |
| 児童館        |    |       |    | 3  |       | 3  |
| 学童クラブ      |    |       | 11 |    |       | 11 |
| 小学校        |    |       | 1  |    | 9     | 10 |
| 合計         | 12 | 14    | 27 | 3  | 11    | 67 |

#### (4) 主な調査結果について

幼稚園・保育所に対する調査結果から主な意見を整理すると以下のとおり。

問3 幼児期に身につけておくべき「生きる力」について気になることはありますか。

- ・生活面において、「寝る時間が遅くなったことにより、睡眠時間が少なく、朝起きることができない」などの多くの意見があり、「保護者の生活リズムの乱れが影響している」という意見がありました。その他、「アレルギー児が増えてきている」という意見がありました。
- ・人とかかわる力について、「相手を思いやる気持ちに乏しい子が多い」、「自我が強い子が多い」、「自分の思いをうまく人に伝えられない」、「我慢する力が不足している」、「友達と一緒に遊べない子が増加している」などの意見はありました。

問4 子どもが不安なく小学校生活をスタートできるように必要なこと、実際に行っているものは何ですか。

- ・「小学校との交流の機会をもっと多く、作ることが必要」という意見が多くありました。

問5 「家庭の教育力」を高めるために重要なことは何だと思えますか。

- ・「子どもが興味を持ち始めた時、物事に集中するので、その時に話を聞いてあげる」などの意見がありましたが、一方で、「保護者自身もコミュニケーションが苦手になっているので、地域の人たちとのかかわり、保育園とのかかわりの中で大人の資質を高めていく」という意見がありました。

問6 「地域の教育力」を高めるために重要なことは何だと思えますか。

- ・ふっさっ子の広場で、ボランティアの方が子どもたちに教えてくれる場があることも影響し、「ふっさっ子広場型のミニ版を保育園・幼稚園にも展開することにより、遊びの伝承など知・徳・体の向上が図られる」などの提案の意見もありました。

問7 市民が子育てをされていて困っていることは何だと思えますか。

- ・「気軽に相談できる窓口や人材を求めている」という意見がある一方で、「困っていることに気付いていない人も多いように思う」という意見もありました。

問8 子育て支援についての意見

- ・「福生市は子育て支援サポートは充実している」という意見がある一方で、「市民への認知度が低いためと保護者の理解不足から利用者が低いように感じる」という制度や情報の発信方法に課題がある意見がありました。